

静岡市の財政状況



令和6年度当初予算や、令和4年度の決算の状況などについて、市民の皆さんにご理解を深めていただくため、「静岡市の財政状況」をお知らせします。

※資料の中の数値は、記載の単位未満で端数調整を行っているため、増減など計算結果と一致しないことがあります。

1.はじめに

○予算・決算や会計のしくみ P 1

2.令和6年度当初予算について

○会計区分別予算の規模 P 2

○一般会計の当初予算の概要 P 3

3.令和4年度決算の状況

○一般会計決算 P 4

○主な内訳と推移 P 5

○市民一人あたりに置き換えると P 6

○特別会計、企業会計の決算の状況 P 6

○一般会計の市債の状況 P 7

○消費税引上げに伴う「増収分」の使途状況 P 8

○主な基金の使途状況 P 8

○ふるさと寄附金、企業版ふるさと納税の使途状況 P 9

○競輪事業収入、宝くじ収益金の使途状況 P 11

○財務書類4表 P 12

○健全化判断比率と資金不足比率 P 13

○指標から見た市の決算状況 P 14

○令和4年度の主な事業 P 15

4.効率的な財政運営のために

○行財政改革の状況 P 16



静岡市

1. はじめに

予算・決算や会計のしくみ



予算とは？

4月1日から翌年の3月31日までの1年間に入ってくるお金（歳入）と出ていくお金（歳出）の見積もりです。
市長が予算案をまとめ、市議会の審議を経て決定されます。



決算とは？

1年間に入ってきたお金と支払ったお金の実績をまとめたものです。
市の監査委員による審査を受けた後、市議会の審議を経て認定されます。



会計の違いは何ですか？

福祉、清掃、道路整備など皆さんに身近で、市の基本的な業務を行う会計を「一般会計」といいます。
一方で、特定の収入で特定の事業を行う場合は、収支を明確にするために、一般会計と分けて管理しています。これを「特別会計」といいます。
また、特別会計のうち、法律により民間企業と同じような経理を行っている会計を「企業会計」といいます。
※本市の特別会計及び企業会計の決算状況は6ページに掲載しています。



歳入を分類すると

歳入には、市税や使用料のほか、特定の事業に対して国や県から交付されるお金（国・県支出金）や市町村ごとの格差を調整するために交付されるお金（地方交付税）といったものがあります。
市税や使用料のように、市が独自に収入できるものを自主財源といい、国・県支出金や地方交付税のように、国や県の制度によって収入されるものを依存財源といいます。
安定した財政運営のためには、自主財源の確保が重要です。



歳出を分類すると

歳出には、目的別と性質別という2種類の分類方法があります。
目的別とは、経費の目的に着目して分類したもので、道路や公園の整備（土木費）、子育て支援や生活保護（民生費）などに分類しています。
性質別とは、経費の性質に着目して分類したもので、下の表のように分類しています。

【歳出の性質別分類】

義務的経費※	人件費	議員の報酬、職員の給与など
	扶助費	生活保護費や児童手当など扶助のための経費
	公債費	市債の元金や利子を支払うための経費
投資的経費	普通建設事業費	建物や道路の建設などの経費
	災害復旧費	災害によって被害を受けた施設などを復旧するための経費

その他の経費	物件費	物品の購入、事務事業の委託など
	維持補修費	施設修繕などの経費
	補助費等	団体等に交付する負担金や補助金など
	繰出金	法例等に基づき、特別会計や企業会計に交付する補助金など
	その他	出資金、貸付金、積立金

※「義務的経費」とは、法令やその性質から支出が義務付けられている経費です。

2. 令和6年度当初予算について

会計区分別 予算の規模

社会が大きな変革期にある中、住む人が将来に安心と幸せを感じ、夢を抱き、希望が持てる「安心感がある温かい社会」を実現する必要があります。

令和6年度は、「安心感がある温かい社会」の実現に向けた重点的な取り組みとして、「子育て支援・教育の充実と健康長寿の推進」、「地域の文化力の向上」、「地域経済の活性化」、「災害対応力の強化」の4つの分野に予算を重点配分しました。

それでは、まず、会計区分別の当初予算の規模を見てみましょう。

全会計の予算の規模

(単位：億円)

区分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率(%)
一般会計	3,534.6	3,517.0	17.6	0.5
特別会計	2,523.5	2,446.7	76.8	3.1
企業会計	799.2	795.4	3.8	0.5
合計	6,857.3	6,759.1	98.2	1.5

一般会計の予算規模は、3,534.6億円で、前年度に比べ17.6億円、0.5%の増となり、過去最大の予算規模となりました。

これは、(仮称)海洋・地球総合ミュージアム整備事業の進捗や沼上清掃工場基幹改修事業の完了、災害復旧事業の減少などにより、投資的経費が約56.6億円、11.1%減少したものの、自立支援給付費の増加などにより、扶助費が約42.1億円、5.2%増加したこと、段階的な定年引き上げに伴う退職手当の増加や会計年度任用職員への勤勉手当の支給などにより、人件費が約40.9億円、5.5%増加したことによるものです。



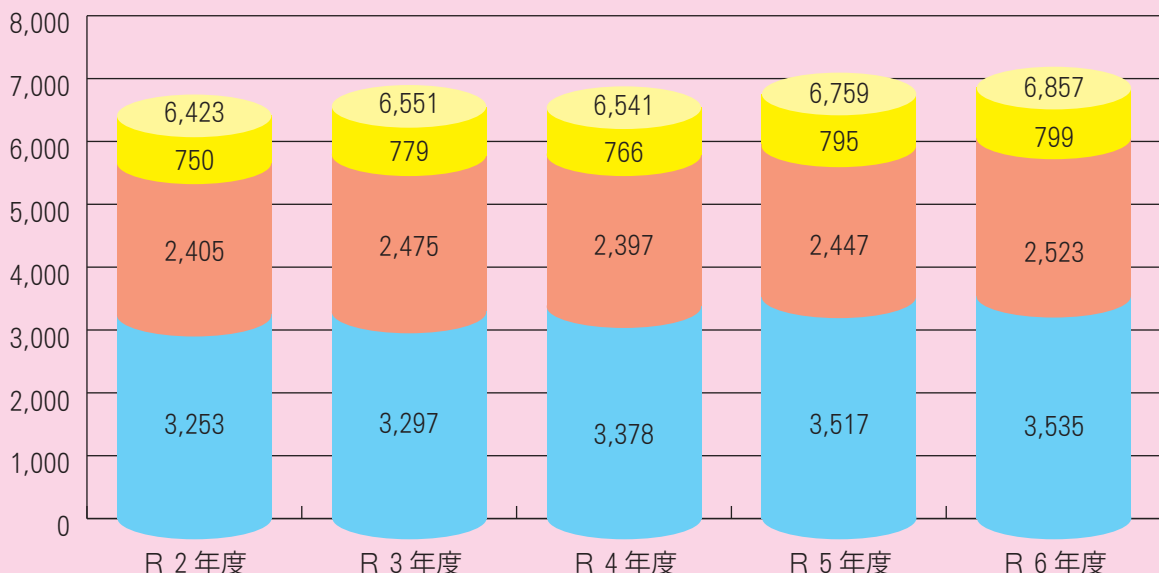
特別会計は、団塊の世代の国民健康保険の被保険者が75歳に到達し、後期高齢者医療制度へ移行したことに伴う被保険者の減少などにより、国民健康保険事業会計が約10.5億円、1.6%の減となったものの、KEIRINグランプリシリーズの開催に伴う開催費の増加などにより、競輪事業会計が約64.4億円、21.2%の増となるため、全体として前年度比約76.8億円、3.1%の増となっています。

企業会計は、農業集落排水事業会計が特別会計から企業会計に移行することなどにより、全体として前年度比約3.8億円、0.5%の増となっています。

予算の規模の推移

単位：億円

■一般会計 ■特別会計 ■企業会計



一般会計の当初予算の概要

※令和6年度予算の特徴や主な事業については、市ホームページ（財政課）に掲載しています。

予算編成のポイント

「安心感がある温かい社会」に向けて、令和6年度は「暮らしの安心感」、「経済的な安心感」、「災害への安心感」を高める4つの分野に予算を重点配分し、積極的な財政出動を行いました。

1 子育て支援・教育の充実と健康長寿の推進

68.2億円
(うち2月補正22.0億円)

子育て支援の充実

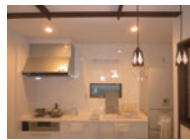
- ・雨の日でも過ごせる子どもの遊び場の設置
- ・清水区放課後児童クラブの土曜開所の実施



子どもの遊び場施設
(静岡県島田市)

結婚支援の充実

- ・結婚新生活における住まいの費用への支援の拡充
- ・空き家を活用する若年夫婦等への支援の拡充



結婚生活に向けた空き家の改修

教育の充実

- ・不登校の未然防止や学校生活への復帰に向けた支援体制の拡充
- ・市立小・中学校等特別教室※や体育館への空調設備の整備



児童が別室で学習に取り組む様子

健康長寿の推進

- ・データ分析による糖尿病発症予防の施策検討
- ・多様な就労困難者への就労支援体制の構築



認知症予防の取組

2 地域の文化力の向上

58.4億円
(うち2月補正5.9億円)

アートとスポーツを活かした交流の促進

- ・アリーナ整備の検討と東静岡のまちづくり計画の策定
- ・清水庵原球場の夜間照明LED化や駐車場等の整備※



SAGA ARENA

歴史文化を活かしたまちの活性化

- ・中心市街地の活性化に向けた紺屋町・御幸町地区の再開発
- ・駿府城跡天守台の野外施設の整備



駿府城跡天守台発掘調査現場

海洋文化を活かしたまちの活性化

- ・清水港日の出埠頭緑地を活用した滞在空間の整備
- ・〈仮称〉海洋・地球総合ミュージアムの整備



清水港日の出埠頭緑地

オクシズの魅力を活かした地域づくり

- ・南アルプスの保全活動の促進
- ・中山間地域の空き家利活用に向けた支援の拡充



南アルプス赤石岳（前岳から）

3 地域経済の活性化

93.8億円
(うち2月補正3.5億円)

社会全体の財産の活用

- ・未利用・低利用地等の活用に向けた法人設立の検討
- ・企業立地の促進に向けた開発候補地の調査



使われない農地を集約し、整形農地へ

経済産業・農業の振興

- ・ブルーTRANSフォーメーション（海洋DX）の推進
- ・スタートアップとの協業・社会実装の促進
- ・企業の市内進出・定着に向けた工場建設等への支援の拡充
- ・有機農業を推進するためのプラットフォームの構築



水中ドローンを使った実験

観光の振興

- ・美食・絶景・歴史をテーマとした観光コンテツツの造成
- ・駿府城公園エリアの夜間景観の整備



紅葉山庭園
(駿府城公園内)

4 災害対応力の強化

132.7億円
(うち2月補正7.4億円)

行政の災害対応力の強化

- ・災害情報を一元的・総合的に発信するサイトの構築※
- ・ドローンを活用した情報の収集・分析手法の構築
- ・災害時のトイレ需要に備えたトイレトラックの導入



トイレトラック

地域の災害対応力の強化

- ・旧耐震基準の木造住宅への耐震診断・耐震補強の支援
- ・避難所の生活環境の向上や要配慮者に必要な物資の確保



下水道管の耐震工事の様子

インフラの機能強化

- ・地震に伴う液状化による水道管の被害想定調査と耐震化の推進
- ・浸水被害の軽減に向けた大内新田地区への雨水貯留施設の整備
- ・巴川流域の水位・氾濫域を予測するシステムの構築



排水池の耐震整備（イメージ）

※2月補正予算の事業

3. 令和4年度決算の状況

令和4年度一般会計の決算額やその推移、財政指標などから、静岡市の財政の現状を見てみましょう。

一般会計決算

年度	歳入	歳出	差引
令和4年度	3,619億9,431万円	3,510億 282万円	109億9,149万円
令和3年度	3,643億2,356万円	3,548億3,470万円	94億8,886万円

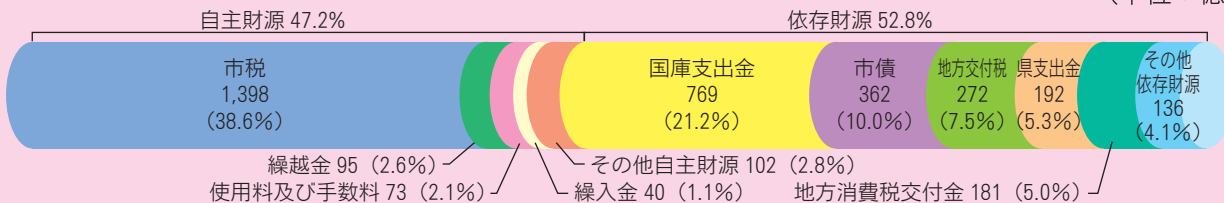


【令和4年度決算の状況】

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業や物価高騰等対策事業の実施等に伴う増額があった一方、子育て世帯臨時特別給付金給付事業及び住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業の減額等により、歳入が前年度と比較して約23億円、歳出が前年度と比較して約38億円減少となりました。

歳入の内訳 総額 3,620億円

(単位：億円)

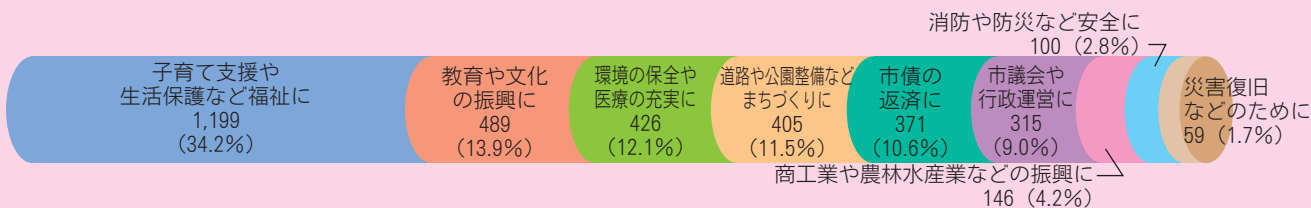


市の収入の基本である市税収入は全体の38.6%を占めています。この他、国庫支出金（21.2%）、まちづくりなどの財源となる市債（10.0%）が高い割合を占めています。

歳出の内訳 総額 3,510億円

支出の目的で分類すると…

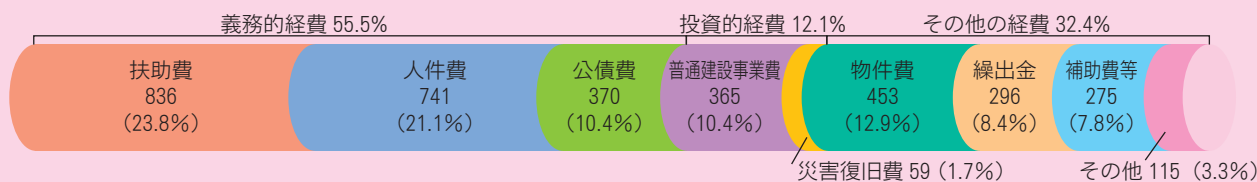
(単位：億円)



子育て支援や生活保護などの福祉の分野の全体に占める割合が34.2%と高い割合となっています。この他、教育や文化の振興の分野（13.9%）や環境の保全や医療の充実の分野（12.1%）の割合が高くなっています。

支出の性質で分類すると…

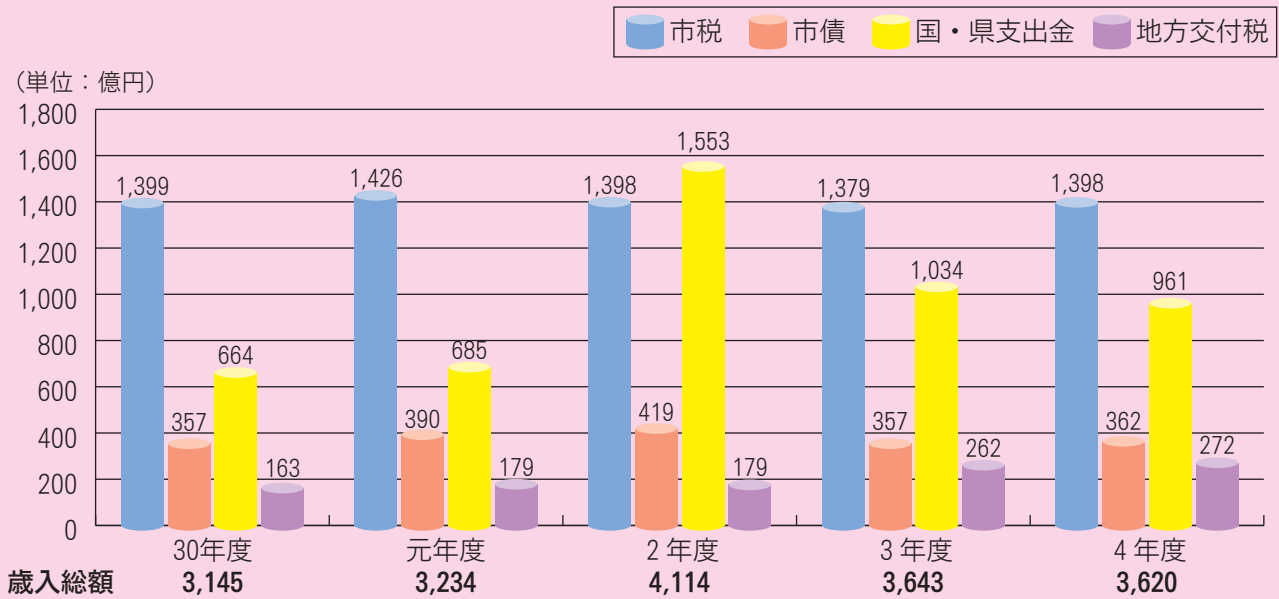
(単位：億円)



義務的経費は全体の55.5%となっており、扶助費23.8%、人件費21.1%と全体の中でも高い割合を占めています。また、投資的経費が12.1%、その他の経費が32.4%となっており、中でも新型コロナウイルスワクチン接種事業などの実施により物件費が、12.9%と、最も高い割合を占めています。

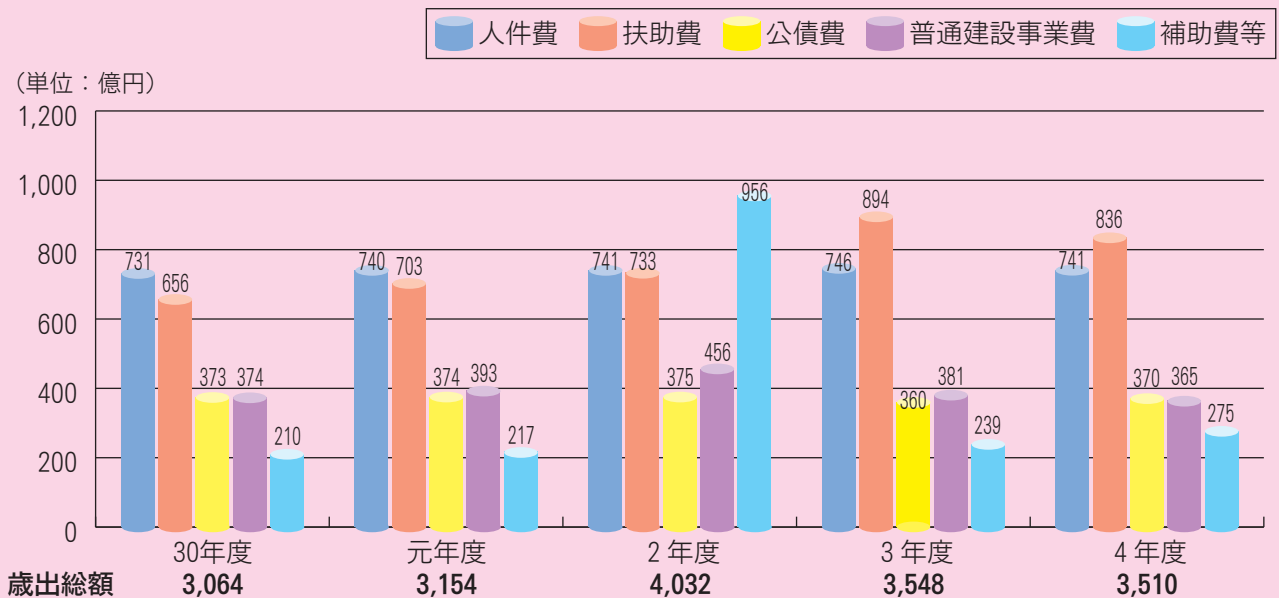
主な内訳と推移

主な歳入の推移



市税は、中小事業者等が所有する償却資産及び事業用家屋に係るコロナ特例の終了に伴う固定資産税及び都市計画税の増等により、前年度に比べ約19億円増額となりました。また、国・県支出金が、子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金及び住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費補助金の減等などに伴い、前年度に比べ約73億円減額となりました。

主な歳出の推移



人件費は、平成30年度以降ほぼ横ばいで推移しています。
 扶助費は、年々増加傾向にありましたが、令和4年度は、子育て世帯臨時特別給付金給付事業及び住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業の事業量の減などにより、前年度に比べ約58億円減少しました。
 普通建設事業費は、入江小学校、江尻小学校の大規模改修事業及び葵消防署大規模改修の終了などにより、前年度に比べ約16億円減少しました。
 また、補助費等は、物価高騰等対策事業及び大河ドラマ活用推進事業の実施などにより、前年度に比べ約36億円増加しました。

市民一人あたりに置き換えると

市の支出を市民一人あたりに置き換えると

※令和5年3月31日現在の住民基本台帳人口68万913人で計算しています。(外国人含む)

○子育て支援や生活保護など福祉に…



17万6千円

○教育や文化の振興に…



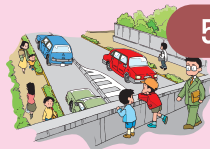
7万2千円

○環境の保全や医療の充実に…



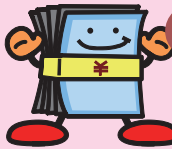
6万3千円

○道路や公園整備などまちづくりに…



5万9千円

○市債の返済に…



5万5千円

○市議会や行政運営に…



4万6千円

○商工業や農林水産業等の振興に…



2万1千円

○消防や防災など安全のために…



1万5千円

○災害復旧などのために…



9千円

市民サービス全体では…51万6千円

市民一人あたりの市税負担額は

市民税	固定資産税	都市計画税	市たばこ税	事業所税	軽自動車税ほか	合計
9万5千円	7万9千円	1万6千円	7千円	6千円	3千円	20万6千円

特別会計、企業会計の決算の状況

特別会計として13会計、企業会計には4会計があります。

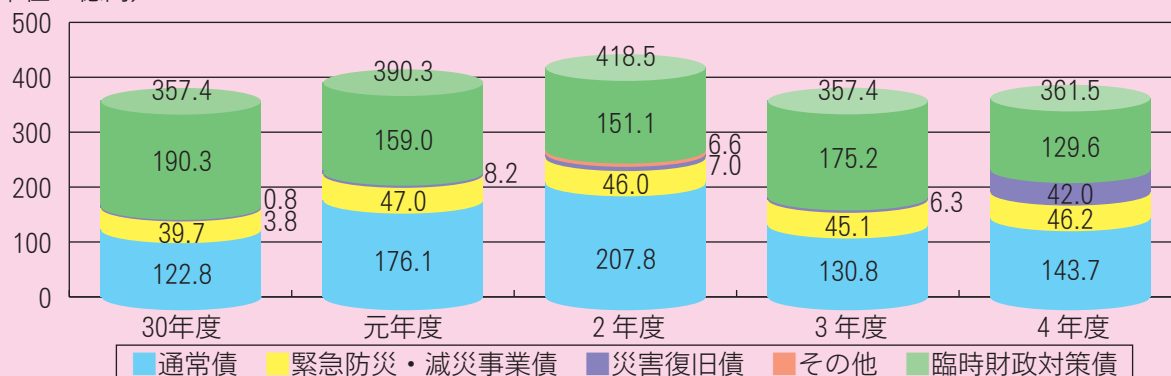
	会計名	歳入	歳出	差引額
特別 会計	電気事業経営記念基金会計	2億3,001万円	2億2,991万円	10万円
	土地区画整理清算金会計	317万円	148万円	169万円
	母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計	5億7,555万円	2億9,124万円	2億8,431万円
	公債管理事業会計	608億7,151万円	608億7,151万円	0万円
	競輪事業会計	224億6,837万円	217億1,973万円	7億4,864万円
	国民健康保険事業会計	684億2,091万円	671億743万円	13億1,348万円
	農業集落排水事業会計	3億611万円	3億470万円	141万円
	駐車場事業会計	1億9,568万円	1億7,070万円	2,498万円
	介護保険事業会計	729億7,868万円	717億9,308万円	11億8,560万円
	介護保険サービス会計	6,264万円	6,214万円	50万円
	中央卸売市場事業会計	6億8,077万円	6億3,165万円	4,912万円
	後期高齢者医療事業会計	103億5,649万円	100億1,024万円	3億4,625万円
	静岡市立静岡病院事業債管理事業会計	9億8,258万円	9億8,258万円	0万円
企業 会計	簡易水道事業会計	1億3,662万円	1億3,047万円	615万円
	病院事業会計	135億7,933万円	130億1,060万円	5億6,873万円
	水道事業会計	109億7,896万円	92億8,233万円	16億9,663万円
	下水道事業会計	208億5,792万円	200億3,917万円	8億1,875万円

一般会計の市債の状況

市債は、市が建設事業などを行う際の資金を調達するための借入金です。
本市では、将来の市民も利用することができる建物等を建設する場合、建設時の市民だけが多額の建設費を負担するよりも、将来の市民にも負担していただく方が公平である、との考えで市債を活用し、都市・生活基盤（道路、公園、清掃施設など）の整備を進めています。
市債残高が増えると将来の負担が大きくなっていくため、適切な管理を行っています。

市債発行額の推移

(単位：億円)

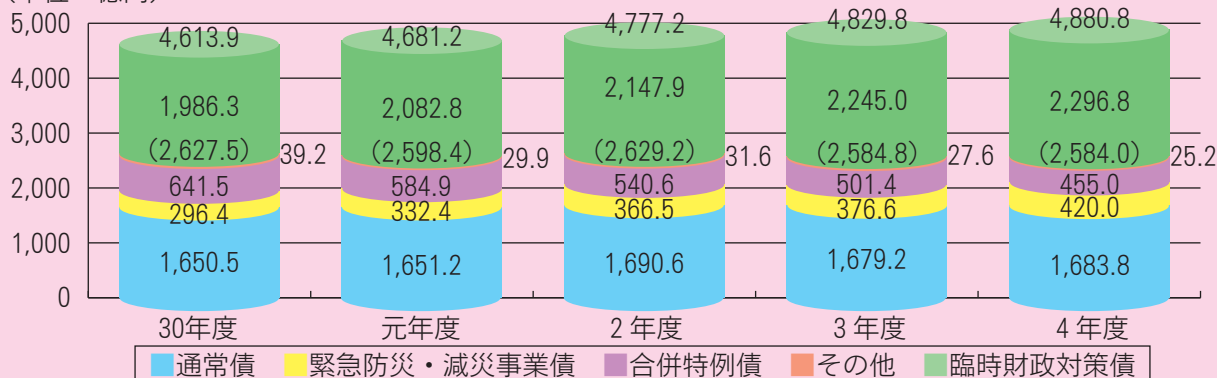


令和2年度まで全体の市債発行額は増加傾向でしたが、令和3年度は小中一貫教育のための教育施設整備やネットワーク整備等が終了したことに伴い、小中学校建設債等の通常債の発行額が減少したため、全体の市債発行額は減少しました。

令和4年度は普通交付税からの振替抑制等により臨時財政対策債の発行額が減少しましたが、歴史文化施設建設事業債等の通常債や、令和4年台風15号災害に伴う災害復旧債の発行額が増加したため、全体の発行額は前年度より増加しています。

市債残高の推移

(単位：億円)



() 内の数値は臨時財政対策債を除いた市債残高

※その他：退職手当債、減収補填債（特例分）、減税補填債の合計



令和4年度末の一般会計市債現在高（実残高）は、前年度末に比べて、51億323万円（1.1%）の増加となりました。市債現在高は、臨時財政対策債の増加の影響により、年々増加しています。

また、臨時財政対策債を除く市債現在高は、令和元年度まで減少が続いていましたが、令和2年度に小中学校建設債や清掃工場施設整備事業債等の増により増加し、令和3年度以降は、合併特例債の減少等により現在高は減少しています。



通 常 債：主に道路建設や建物の建設などの財源として発行します。合併特例債、退職手当債、臨時財政対策債などの特例的に発行が認められているもの以外の地方債です。

合 併 特 例 債：合併した市町が、新市建設計画に基づく事業の財源として発行できる地方債で、合併した年度とそれ以降の10年間（29年度債まで）に限り発行できます。

臨時財政対策債：臨時財政対策債は、国から地方に交付される地方交付税の不足分をいったん地方自治体が地方債としてまかなうものです。

消費税引上げに伴う「増収分」の使途状況

平成26年度からの消費税率の引上げに伴い増収となった地方消費税交付金は、約98.1億円となりました。この増収分は社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てています。

※社会保障4経費その他の社会保障施策に要する経費とは、社会保障4経費（年金、医療、介護、少子化対策）を含む、社会福祉（生活保護、児童福祉、高齢者福祉など）、社会保険（国民健康保険、介護保険、年金など）、保健衛生（医療、感染症ほか疾病対策、健康増進対策など）に要する経費をいいます。

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費への充当状況】 (単位：千円)

区 分	決 算 額	財 源 内 訳			
		特定財源	一 般 財 源		
			うち引上げ分の 地方消費税交付金		
社会福祉	社会福祉事業	26,385,524	9,949,138	16,436,386	2,040,673
	児童福祉事業	50,770,848	19,720,657	31,050,191	3,235,145
	生活保護事業	16,287,115	11,517,772	4,769,343	573,363
	教育総務事業	451,506	270,821	180,685	24,591
	小計	93,894,993	41,458,388	52,436,605	5,873,772
社会保険	国民健康保険事業	5,375,865	2,704,331	2,671,534	363,588
	介護保険事業	11,136,429	601,455	10,534,974	1,433,383
	後期高齢者医療事業	1,833,382	1,375,174	458,208	62,361
	小計	18,345,676	4,680,960	13,664,716	1,859,332
保健衛生	保健衛生事業	4,219,487	253,655	3,965,832	190,726
	保健予防事業	15,208,594	10,042,967	5,165,627	699,580
	健康対策事業	3,762,956	241,546	3,521,410	453,842
	病院事業	5,348,249	0	5,348,249	727,790
	小計	28,539,286	10,538,168	18,001,118	2,071,938
合計	140,779,955	56,677,516	84,102,439	9,805,042	

主な基金の使途状況

新型コロナウイルス感染症経済変動対策資金特別利子助成基金繰入金は、新型コロナウイルス感染症対策特別利子補給事業の財源として5億8,677万円、清水港海づり公園代替施設建設基金繰入金は、清水港海づり公園代替施設整備事業の財源として6,650万円を活用しています。

(単位：千円)

基金名称	繰入金額	主な充当事業	充当額
新型コロナウイルス感染症 経済変動対策資金 特別利子助成基金	586,772	新型コロナウイルス感染症対策特別利子補給事業	586,772
清水港海づり公園 代替施設建設基金	66,500	清水港海づり公園代替施設整備事業	66,500

ふるさと寄附金、企業版ふるさと納税の使途状況

ふるさと寄附金（しぞ〜かふるさと応援寄附金）の使途状況

しぞ〜かふるさと応援寄附金は、「静岡市を応援したい」という方からの寄附金を本市が実施する各種事業の財源として活用しています。

令和4年度の決算額は8億2,433万円（46,928件）で、寄附額について、前年度の3億9,760万円（28,244件）から4億2,673万円の増加となり、寄附件数について、18,684件の増加となりました。

いただいた寄附金は、以下の事業に活用しました。

活用事業一覧

（単位：千円）

寄附の目的	活用事業	充当額
子どもの学びを充実	スクールサポートスタッフ配置事業 ほか	113,235
困難を抱える子どもへの経済的支援	母子家庭等医療費助成、要保護児童自立支援事業 ほか	102,812
新型コロナウイルス感染症関連施策	新型コロナウイルス感染症関連施策基金に積立	38,743
南アルプスの豊かな自然を守ろう！	南アルプス関連事業 ほか	26,836
みんなで守ろう！世界遺産三保松原	三保松原保全活用事業	21,943
温室効果ガス排出実質ゼロへ！	地球温暖化対策事業費助成 ほか	18,862
子どものこころの支援を充実	スクールカウンセリング事業 ほか	18,049
生活困窮世帯の子どもへの学習支援	子どもの貧困対策学習支援事業 ほか	18,016
お茶・わさび等の農産物消費拡大	いきいき都市農業推進事業	16,940
動物園の魅力をバージョンアップ	動物園管理運営経費（獣舎改修事業）	16,502
その他（「市長におまかせ」を含む）	区の魅力づくり事業 ほか	429,949
クラウドファンディング	シツクリプロジェクト、一色手筒花火復活プロジェクト ほか	2,439
総 計		824,326



スクールサポートスタッフ配置事業に活用しました。



南アルプスエコパーク関連事業に活用しました。



日本平動物園の獣舎改修事業に活用しました。

企業版ふるさと納税の使途状況

静岡市が実施する地方創生事業に対し、多くの企業から企業版ふるさと納税として寄附をいただきました。令和4年度の決算額は4,945万円で、20社（延べ22社）から寄附をお寄せいただきました。

いただいた寄附金のうち、令和4年台風15号災害復旧に対する寄附金については、林道施設の復旧事業に活用しました。その他事業に対する寄附金については、基金に積み立て、令和5年度以降の事業に活用していきます。

企業及び対象事業一覧

(単位：千円)

年度	活用事業	寄附額
令和4年度	台風15号災害復旧事業	3,500
令和5年度	ホームタウン推進事業	20,500
	静岡市プロスポーツ等連携プロジェクト	20,000
	中小企業DX支援事業	3,000
	未来につなごう「お茶のまち静岡市」プロジェクト	1,100
	「おいしい静岡いただきます！」わくわく給食プロジェクト	600
	駿府城跡天守台野外展示事業	250
	静岡市プラモデル化計画	200
	旧マッケンジー住宅再生活用事業	200
	移動図書館事業	100
総 計		49,450



台風15号で被災した施設の早期復旧に係る費用として活用しました。(写真左：被災直後 写真右：復旧後)



ホームタウンチームと連携して行う、スポーツの振興などを図る事業に活用していきます。

競輪事業収入、宝くじ収益金の使途状況

競輪事業収入の使途状況

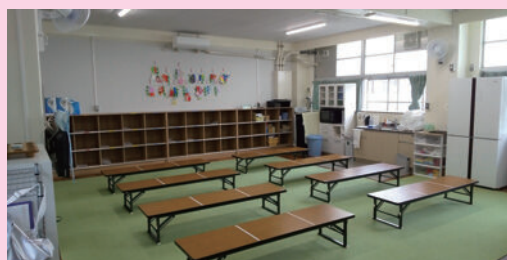
静岡競輪の事業収益の一部は、本市の一般会計へ繰り入れられており、令和4年度の決算額は1.5億円で、前年度から2.5億円の減となりました。

(単位：千円)

分野	事業内容	充当額
地域振興	集会所建設費助成事業	100,000
地域振興	防犯灯維持費助成事業	25,000
地域振興	防犯灯設置費助成事業	10,000
児童福祉	市立こども園施設整備事業	11,000
児童福祉	児童クラブ室整備事業	4,000
合計		150,000



集会所建設費助成事業（地域振興）



児童クラブ室整備事業（児童福祉）

宝くじ収益金の使途状況

宝くじ事業の収益金は、市政の各分野で身近な暮らしのために活用されています。令和4年度の決算額は17億4,559万円で、前年度から5,001万円の減となりました。

(単位：千円)

区分	主な事業内容	充当額	
増進を目的とする公共事業その他公益の事業	地域の国際化の推進	自治体国際化協会静岡市支部負担金	3,000
	高齢化・少子化等に対応	児童クラブ運営事業 老人福祉センター運営事業 ほか	397,000
	芸術・文化の振興	静岡市美術館管理運営事業 静岡市民文化会館管理運営事業 ほか	698,569
	災害の予防	防災施設維持管理事業 河川改修事業 ほか	83,000
	地域経済の活性化	駿府匠宿運営事業 「ホビーのまち静岡」推進事業 ほか	193,000
	環境の保全及び創造	沼上清掃工場運転事業 資源循環啓発施設運営事業 ほか	371,000
購入者に対するサービスの向上	宝くじ事務協議会に対する分担金及び負担金	20	
合計		1,745,589	



静岡市民文化会館管理運営事業
(芸術・文化の振興)



「ホビーのまち静岡」推進事業
(地域経済の活性化)

財務書類 4 表

財務書類 4 表とは、市の会計方式ではあらわしにくい資産や負債の状況や行政サービスにかかるコストなどを、企業会計的手法により作成した書類です。

本市では、平成28年度決算から全国の地方公共団体と比較できる「統一的な基準による」財務書類等を作成し、公表しました。これにより、より実態をあらわす財務書類等となりました。

4つの表には、下の図のような相互関係があります。

貸借対照表は、市が保有している土地や建物などの財産（資産）の合計と、その財産を築くための財源（自己資金や借入金、国・県支出金など）の合計を、年度末時点で左右に並べ比較した表です。これにより、現在までに整備された資産の財源構成のうち、将来返済しなければならない負債（他人資本）と、返済を要しない純資産（自己資本）を把握することができます。4年度末の資産合計は1兆8,262億円、負債合計は5,683億円となりました。

(単位：億円)

貸借対照表			
資産合計	18,262	負債合計	5,683
1 固定資産	17,930	1 固定負債	5,133
2 流動資産	332	2 流動負債	550
うち現金預金	134	純資産合計	12,579

(単位：億円)

資金収支計算書	
業務活動収支	203
+	
投資活動収支	△224
+	
財務活動収支	37
本年度資金収支額 ①	16
前年度末資金残高 ②	97
本年度末資金残高 ③ (①+②)	113
本年度末歳計外現金残高 ④	21
本年度末現金預金残高 ⑤ (③+④)	134

資金収支計算書は、1年間のすべての行政活動について資金（現金預金）の流れを表すものです。

令和4年度末の現金預金残高は134億円となりました。

行政コスト計算書は、貸借対照表に計上されない人的サービスや給付サービスなどの資産形成につながらない行政サービスに要した経費（コスト）と、それに対する受益者負担分（収益）を表すものです。

経常費用と経常収益の差額である純経常行政コストは2,939億円となりました。

(単位：億円)

行政コスト計算書	
経常費用	3,094
業務費用	1,668
・人にかかるコスト	751
・物にかかるコスト	873
・その他にかかるコスト	44
移転費用（移転支出的コスト）	1,426
経常収益	155
純経常行政コスト	2,939
+	
臨時損失	62
臨時利益	1
純行政コスト	3,000

(単位：億円)

純資産変動計算書	
前年度末純資産残高	12,594
純行政コスト	3,000
+	
財源	2,968
+	
資産評価差額	5
+	
無償所管換等 外	12
本年度末純資産残高	12,579

純資産変動計算書は、貸借対照表の「純資産」（実質的な資産）について、1年間でどのようなお金の増減があったかを表すものです。

令和4年度末の純資産残高は1兆2,579億円となりました。

上記『貸借対照表』の数値を、本市の人口で割り、市民一人当たりの額を算出すると、**市民一人当たり 資産268万円 負債83万円** となります。

※令和5年3月31日現在の住民基本台帳人口68万913人で計算しています。(外国人含む)

健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率及び資金不足比率は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づいて算定する、財政の健全性を表す指標です。

健全化判断比率

○令和4年度決算においても早期健全化基準を下回り、一定の健全性を確保しています。

指 標	解 説	4 年度 比 率	早期健全化 基準 ^{※1}	財政再生 基準 ^{※2}
①実質赤字比率	1年間の収入に対する一般会計等の赤字の割合	—	11.25%	20.0 %
②連結実質赤字比率	1年間の収入に対する市全体の赤字の割合	—	16.25%	30.0 %
③実質公債費比率	1年間の収入に対する1年間に支払った公債費（借金の返済）などの割合	6.3 %	25.0 %	35.0 %
④将来負担比率	1年間の収入に対する今後支払わなければならない公債費などの割合	34.3 %	400.0 %	—

(注)「—」表示は、赤字がない状況です。



- ※1 早期健全化基準：健全化判断比率のうち、いずれかひとつでも早期健全化基準以上の場合は、**財政健全化団体【自主的に健全化を図る予防的段階】**となり、「財政健全化計画」を策定し、改善に取り組むこととなります。
- ※2 財政再生基準：①～③の健全化判断比率のうち、いずれか一つでも財政再生基準以上の場合は、**財政再生団体【国等の関与による財政再生段階】**となり、「財政再生計画」を策定し、国の関与の下、厳しい歳出削減などに取り組むこととなります。

資金不足比率

特定の特別会計と企業会計は、経営の健全性を判断するため、事業の規模に対する資金の不足額の割合を示す資金不足比率を算定します。

本市の場合、水道事業会計、病院事業会計、下水道事業会計、簡易水道事業会計、中央卸売市場事業会計及び農業集落排水事業会計の6会計が対象となります。

○令和4年度決算においても資金不足が生じている会計はありませんでした。

指 標	解 説	4 年度比率	経営健全化 基準 ^{※3}
資 金 不 足 比 率	事業の規模に対する資金不足の割合	—	20.0%

(注)「—」表示は、資金不足がない状況です。



- ※3 経営健全化基準：資金不足比率の基準です。資金不足比率が経営健全化基準以上の場合は、**経営健全化団体【公営企業の経営の健全化を図る段階】**となり、「経営健全化計画」を策定し、改善に取り組むこととなります。

指標から見た市の決算状況

健全化判断比率等の推移と、他の政令指定都市との比較です。

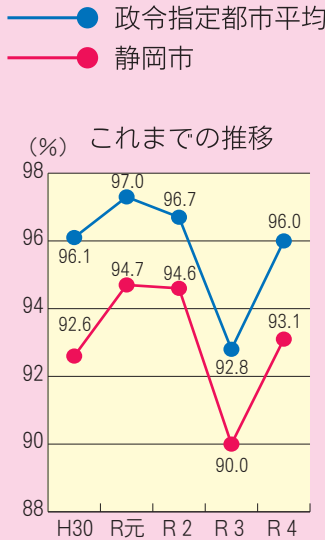
経常収支比率

市税や地方交付税等の経常的収入が、人件費や扶助費、公債費などの経常的経費にどれだけ使われているかを示す指標です。

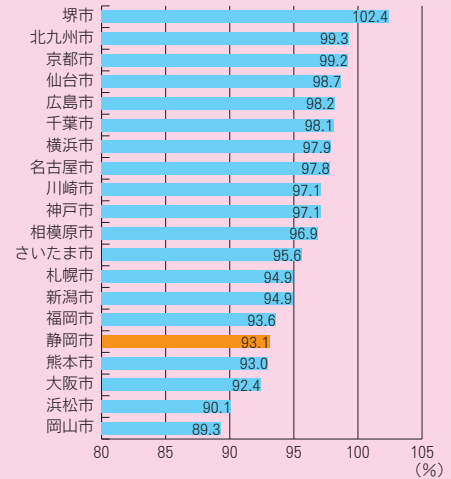
この数値が低いほど財政に余裕があることになります。

令和4年度は、臨時財政対策債の減少や公債費の増加などにより、3.1ポイントの増となりました。

政令指定都市平均と比較すると低い数値となっています。



政令指定都市との比較



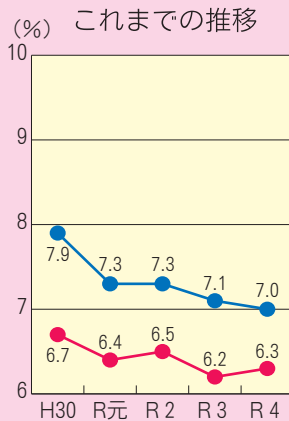
実質公債費比率

1年間の収入に対する1年間に支払った公債費(借金の返済)などの割合です。

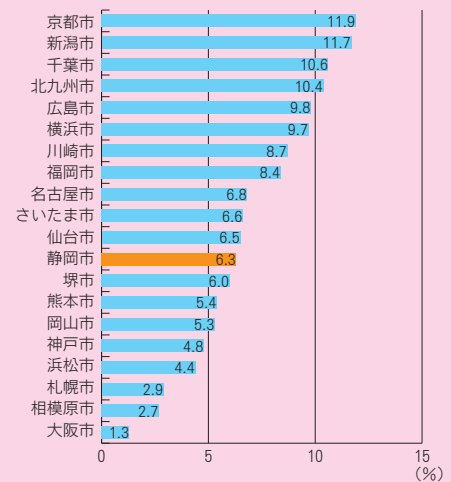
この数値が低いほど借金の返済以外に使えるお金が多いことになります。

平成22年度をピークに、減少傾向となっていました。4年度は一般会計等が負担する公債費が増加したことなどにより、前年度比0.1ポイントの増となりました。

政令指定都市平均と比較すると低い数値となっています。



政令指定都市との比較



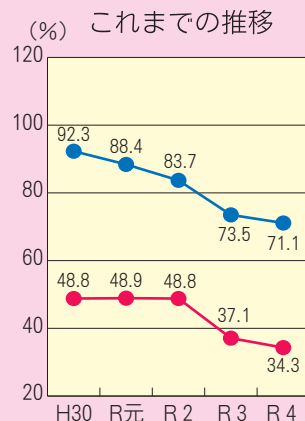
将来負担比率

1年間の収入に対する将来にわたり支払わなければならない公債費などの割合です。

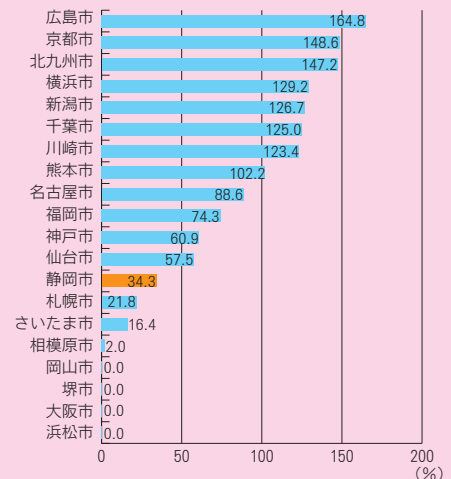
この数値が低いほど、将来への負担が少ないことになります。

令和4年度は、市債管理基金等の積立で将来の充当可能財源が増加したことなどにより、2.8ポイントの減となりました。

政令指定都市平均と比較すると低い数値となっています。



政令指定都市との比較



令和4年度の主な事業

第3次総合計画のうち、静岡市が持つ資源を活かし、まちの価値を高める施策（5大構想）に予算を重点配分し、事業を実施しました。

1 歴史文化の拠点づくり

- 歴史文化施設建設・管理運営事業
- 大河ドラマ活用推進事業
- ナイトツーリズム推進事業
- 駿府城跡天守台発掘調査見える化・野外展示事業



歴史博物館（令和5年1月開館）



駿府城公園ライトアップイメージ

2 海洋文化の拠点づくり

- 海洋文化施設建設事業
- 新興津地区交流施設検討事業
- 海洋産業クラスター創造事業
- 清水駅東口周辺歩行者ネットワーク整備事業



（仮称）海洋・地球総合ミュージアム



新興津地区人工海浜・緑地

3 教育文化の拠点づくり

- 「静岡シズンカレッジこ・こ・に」推進事業
- 環境保健研究所建設事業
- 「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業
- 静岡都心地区まちなか再生事業



静岡シズンカレッジ「こ・こ・に」



東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

4 「健康長寿のまち」の推進

- 認知症ケア推進体制整備事業
- 成年後見制度利用促進事業
- 地域包括ケアシステムの推進
- 静岡を食べよう！おいしい給食提供事業



認知症の講演会の様子（かけこまち七間町）



地元食材を使用したわくわく給食

5 「まちは劇場」の推進

- 静岡市民文化会館再整備事業
- 「まちは劇場」ブランディング事業
- 賑わい創出イベント（静岡まつり、大道芸ワールドカップ など）
- 静岡市プラモデルプライドプロジェクト



清水みなと祭り



プラモニュメント

その他の主な事業と感染症対策

〈経済社会変革〉

- SDGs連携加速化支援事業
- スマートシティ推進事業
- 地球温暖化対策推進事業 など

〈防災・減災・国土強靱化〉

- 静岡型「災害時総合情報サイト」構築事業
- 同報無線デジタル化整備事業
- 浸水対策推進プラン など

〈新型コロナウイルス感染症対策〉

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
- 検査費・入院費の助成
- 在宅ドクターサポート事業 など

令和4年9月に発生した台風15号により市内各所で浸水や土砂災害、断水など大きな被害が生じました。また、世界経済の回復に伴う原油の需要増やロシアによるウクライナ侵略等の影響により原油価格等が高騰し、市民生活や企業等の事業活動などに大きな影響を及ぼしました。

このような状況に緊急に対応するため、補正予算で以下のような市民や事業者への支援などを実施しました。

台風15号被害への対応

<被災者支援>

- 災害廃棄物処理事業
- 被災住宅応急処理事業 など

<被災事業者支援>

- 被災中小企業等支援金支給事業
- 農業者災害復旧事業費助成 など

<インフラ・公共施設の復旧>

- 道路橋りょう、河川、農道、林道、公園体育施設、小中学校、児童福祉施設 など



台風被害による路肩崩壊

物価高騰対策

<生活者支援>

- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業
- 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業
- モバイル決済サービスを活用した生活者支援・地域経済活性化事業 など

<事業者支援>

- 中小企業や福祉施設等に対する光熱費等の負担軽減事業
- 貨物自動車・公共交通等事業者支援事業 など

4. 効率的な財政運営のために

行財政改革の状況

本市では、「豊かな地域社会を実現するための最適な行財政運営」を基本理念とする「第3次静岡市行財政改革推進大綱（H27年度～R4年度）・同後期実施計画（R元年度～R4年度）」を推進し、単なるコスト縮減だけでなく、住民の生活の豊かさと質の高い行政運営の実現を目指してきました。

令和5年度からは、「市役所が変化に迅速かつしなやかに対応できる頼もしい組織となり、市民、企業等との連携により新たな価値を創造する行財政運営の推進」を基本理念とする「第4次静岡市行財政改革推進大綱（R5年度～R12年度）」・同前期実施計画（R5年度～R8年度）を確実に実施することで、健全な財政基盤を堅持し、社会情勢に応じた行財政運営の実現を目指していきます。

第3次行財政改革の実績（R4年度）

- R4年度の効果額…67億4,275万円（収入増額：35億3,223万円、削減額：18億233万円、将来負担の軽減：14億819万円）

（単位：百万円）

年 度		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
計画額あり	収入増額	計画	1,375	1,938	2,307	2,649	8,269
		実績	2,108	1,741	2,907	3,477	10,233
	削減額	計画	587	1,017	1,980	2,585	6,169
		実績	395	1,190	1,979	1,791	5,355
	将来負担の軽減	計画	1,385	1,409	1,389	1,379	5,562
		実績	1,398	1,355	1,379	1,408	5,540
小 計	計画	3,347	4,365	5,676	6,613	20,001	
	実績	3,901	4,287	6,265	6,676	21,128	
達成率		116.50%	98.20%	110.20%	101.00%	105.60%	
計画額なし	収入増額	3	5	52	55	114	
	削減額	6	64	11	11	93	
	将来負担の軽減	341	191	0	0	532	
	小 計	350	260	63	66	739	
合計	収入増額	2,111	1,746	2,959	3,532	10,348	
	削減額	401	1,255	1,990	1,802	5,447	
	将来負担の軽減	1,739	1,546	1,379	1,408	6,073	
合 計		4,251	4,547	6,328	6,742	21,868	

■主な取組内容と効果額

<収入増額>

- 市税等の収納率の向上 約15.4億円
- ふるさと寄附金制度の推進 約4.7億円
- 課税客体的確な把握による税収確保 約3.1億円
- 未利用地等の売却の推進 約2.2億円

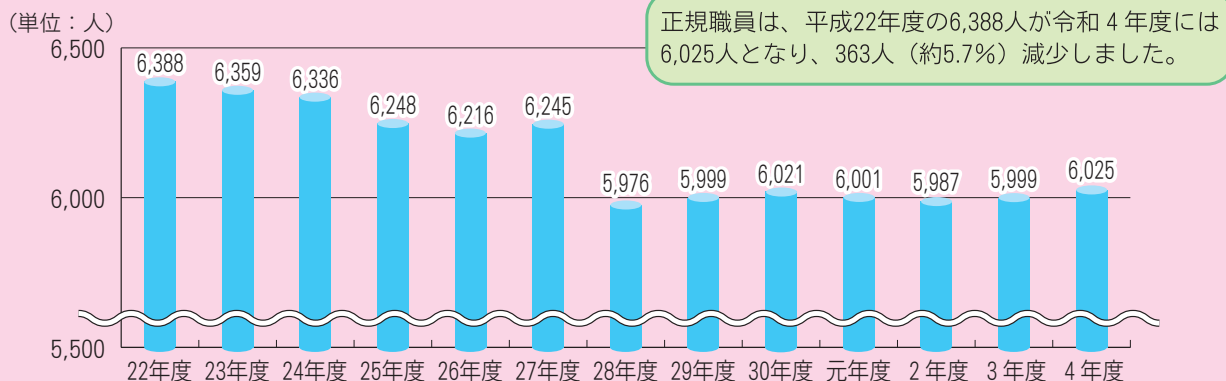
<削減額>

- 予算の定期点検の実施 約14.5億円

<将来負担の軽減（投資的経費の縮減額）>

- 道路橋の長寿命化の推進 約11.5億円

●職員数の推移



※平成27年度から平成28年度にかけての大幅な減少は、静岡病院独立化（669人減）と消防救急広域化（261人増）による増減を含んでいます。

※平成29年度に県から市に権限が委譲された旧県費負担教職員は含んでいません。



アジアゾウ シャンティの骨格標本
(日本平動物園)

発行：令和6年3月

静岡市財政局財政部財政課

TEL：054-221-1026

FAX：054-221-1749

E-mail：zaisei@city.shizuoka.lg.jp

ホームページ：<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s3627/s008127.html>

決算の状況や財務状況については、ホームページで詳しく紹介しています。